

瀬戸内にキラリと光る小さな世界都市



広報

うちのみ

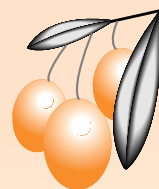


歴史を積み重ね
そして新たな1ページへ

2006・March・3月
最終号
平成18年3月5日発行 No.604



オリーブの風薫る ふれあいのまちへ



内海町長
坂下一郎

昭和26年4月1日に西村、草壁本町、安田村、苗羽村及び坂手村の5ヶ町村が合併し、その後昭和32年3月31日には福田村が加わり、現在の内海町が形作られました。内海町の誕生から55年の歳月が流れ、時代の潮流の大きな変化の中、住民福祉の向上とよりよい地域社会を作っていくために、隣町である池田町と合併し、新たに小豆島町として今月21日から出発することとなります。

この間、本町では、日本経済の急激な成長を背景に、国が整えた社会福祉制度を着実に実行してまいりました。これに加え、学校、



幼稚園、公民館などの教育施設の整備、急峻な地形への防災対策として、また、長年悩まされてきた水不足を解消するためのダムを整備、そして町立病院の整備と2度にわたる建替、老人保健施設の建設など住民に必要とされる社会資本の整備を積極的に行い、住んでよい町を目指してまいりました。

また、昭和50年代半ばから言われだしました「地方の時代」では、それぞれの市町村が特色を持つための施策を実施する時代に入り、本町の地域資源である寒霞溪は勿論、オリブを生かしたオリブ公園の整備、二十四の瞳の再映画化の際に作られたオープンセットを利用しての二十四の瞳映画村、産業として歴史がある石材を使った石彫など新たな観光拠点の整備を行いました。これと並行して、住民参加により花が、町を彩る花の町づくり運動を展開し、訪ねてよい町を目指してきました。

そして、近年においては、オリブを素材として、ブランド化による農業、漁業、食品製造業及び観光業の振興を多角的に取り組んでいこうといたしております。また、食品製造業の町としての循環型社会の構築への研究も産官学が一体となつて進めております。

この積極的なまちづくりの一方で、昭和49年と51年には、大雨による土砂災害により多くの尊い人命を失い、自然の脅威への無力さを思い知らされる悲しい出来事もありました。

このような歴史を綴ってきた内海町であります。この地域の一つの時代をその時代に生きた人々が精一杯、額に汗をし、知恵をふり絞って作り上げてきたのが内海町でございます。その多くの人々のご労苦に心から感謝を申し上げ、内海町の歴史に幕を引きたいと思ひます。ありがとうございました。



町旗を降納する、坂下町長と山本町議会議長

内海町閉町式を開催

55年間の歴史に幕

3月21日の合併に先立ち、閉町式が2月26日サン・オリーブのオリーブホールにて開催されました。来賓や受賞者など200名余りの方が出席し、これまで内海町が歩んだ道のりを振り返ると共に町政発展に尽力いただいた個人・団体に表彰状・感謝状を贈呈しました。

開会に先立ち、映像により内海町55年間の歩みを紹介し、昔の風景や出来事を写真やナレーションでたどりました。懐かしい顔や思い出の行事が映し出されると出席者の顔からは笑顔がこぼれていました。

式典は、君が代斉唱の後、吉岡忠昭助役により開会。坂下一朗町長は「先人の英知と融和の精神で昭和26年に誕生した内海町は、住んでよい町を目指し、ダムや病院などの住民に必要な社会資本の整備を積極的に行ってきました。近年においてはオリーブを軸とした農業、食品製造業、観光業の振興に多角的に取り組んでいこうとしています。このように町民一つとなって作り上げてきた内海町を閉じることは万感胸に迫る思いですが、小豆島町という新しい町が実りある未来へ大きく羽ばたくことが先人

の労に報いることになると思います」と式辞を述べ、続いて山本和志町議会議長が「町の歴史を振り返れば、内海病院、吉田ダムなどの建設を行い、現在の内海町の目指す町づくりの姿を作って参りましたが、住民のニーズの多様化、生活環境の変化などにより、これまでの町村の行政区域を越えた取組みが必要となってきました。時代の潮流を踏まえ、この町は55年の歴史に幕を閉じますが、町議会は地方自治の振興と町政発展のため、町民を代表し、町民の皆さんと共に「オリーブの風薫るふれあいのまち」作りを目指して、最善の努力をしていきます」と式辞を述べました。この後地方自治の振興、教育文化の向上、産業の振興など各分野で町政発展に尽力した14人の個人・団体に町長から表彰状並びに感謝状が贈られました。

そして、式の終わりには島太鼓“^{かんらん}橄欖”による「未来への鼓動」と題した勇壮な太鼓の演奏が披露され、出席者の気持ちも高ぶる中、中村勝利町議会副議長による万歳三唱の後、町長と議長により町旗の降納が行われ、式は幕を閉じました。

内海町閉町記念表彰状並びに感謝状贈呈者一覧

(敬称略)



開式の辞を述べる吉岡助役

地方自治功労

播磨 正敏

内海町代表監査委員として自治振興に寄与

岡田 公正

苗羽財産区議会議員として自治振興に寄与

永井 勝也

草壁本町自治会総代として、自治振興に寄与

森下 豊

竹生自治会長として自治振興に寄与

産業振興功労

高松 清

石彫作家として、地場産業の振興に寄与

優秀技芸功労

井口 徹

前田 忠

馬木郷土芸能職さしの指導者として、地域文化の保存伝承に寄与

教育文化功労

黒木 壽子

内海町文化協会理事として、文化振興に寄与

交通安全功労

塩本 悦子

内海町交通安全母の会会長として、交通安全の推進に寄与

その他模範となる行為

B&G太鼓族

介護老人保健施設において、ボランティア活動を継続

感謝状

榎原 辰雄

谷 昭一

寺下 敏雄

セラヴィリゾート(株)

ネオオリエンタルリゾート小豆島

(株)内海化学工業所

多額の浄財を寄付

(株)大阪マルビル

土地の寄贈

神下 雄吉

宮田 保史

絵画の寄贈



勇壮な太鼓演奏を披露する「榎」の皆さん



閉町記念誌を発行



内海町55年の歩みの記録を残そうと「内海町物語」を発行しました。1941年に内海町が誕生してから今までの、様々な出来事を写真と文章で紹介しています。今月号の広報と同時に各世帯にお届けします。ご家庭でご覧いただき、内海町の歴史について語り合っていたければと思います。また、2月号広報でもお知らせしました町史年表(上下巻・追録)も1500円で販売しておりますので、この機会に購入を希望される方は総務企画課広報係(☎82-7002)までお問合せください。



漁業を営む 鵜崎実夫さん（橘）

地元で採れた魚介類、その旨さは、まさに島の宝。この宝をふんだんに使った料理で島外から来た観光客をもてなし、その魅力を知ってもらうことで、今よりさらに観光客が増える。そして新しい雇用も生まれ、若い人達がきちんと生活できる島であってほしい。



町の体育指導委員を務めている
坂口直人さん（福田）

高齢者の方が常時在中し、様々な活動をしている場（施設）があり、そこを子どもが訪れれば、その方の特技や先人の知恵などが学べるような高齢者の方の存在を生かした『地域で教育ができる町』に！



砂場で友だちと遊んでいた
笠井航輝くん（星城小3年）

みんな平和で仲良しな島だったらいいなあ。



ガソリンスタンドを経営している
八木 宏さん（安田）

土庄町と円満合併し、ひとつになった新しい小豆島のもと、何かの方向に向かってすべてのものが動いていけば……と思います。プラス思考を基本に。



受験勉強の最後の追い込みに入っていた
植松恵司くん（小豆島高3年）

進学や就職で一度島を出て行く学生たちが帰ってきやすい町であってほしいです。

「10年後の小豆島」を想像して、それぞれみなさんの期待する未来の小豆島像一夢、希望、願いを話していただきました。

メッセージ



オリーブ公園でオリーブの手入れをしていた
石井岩男さん（苗羽）

オリーブの島にふさわしく、町中がオリーブの緑であふれ、オリーブ産業が盛んになり、小豆島から活気ある風が吹くようになってほしい。



家業の海運業を手伝っている
福村千明さん（坂手）

島が一つになり、老若男女みんなが元気で安心して暮らせる町になってほしいですね。



大阪から島に帰ってきて働いている
中村和彦さん（橘）

みんなが正しく理解しあい、誰も、へこんだり、傷ついたりしない、そういう町になってほしいと願います。



2月号、声の広報の吹き込みをした
上川佳代さん（安田）

自然の豊かさをそのままに、活力ある職場、いろいろな所で、子どもたちや年齢を越えた人たちの笑い声の聞こえる温かい心のつながりのある町になって欲しいです。



家業の自動車板金業を手伝っている
戒 桂子さん（安田）

私は今年、古希をむかえました。くしくもこの年に2つの町が合併して小豆島町となりました。これからは、自分や家族のためにも健康が第一、みんなが楽しく暮らせる町になって欲しいと願います。



地域で様々な活動をしている 岡井 保さん（西村）

今こうして元気でいられるのも、多くの人たちの支えである。感謝を忘れず、地域社会に役立つ奉仕活動を通じ、豊富な知識と経験が評価され、若い人達が尊敬と慈愛の精神で接し、年齢をこえて心と心をつなぐ壁のない開放的な社会が生まれる様願っています。



剣道の練習に来ていた
大倉 健くん（星城小4年）

自然が豊かで、みんなが仲良く住みやすい島であってほしいです。大人になったらぼくたちも小豆島でくらしていただろうと思います。



草壁幼稚園PTA会長を務めている
和田圭介さん（片城）

お年寄りにも、若い世代にも活気を感じる町になるといいですね。そして子どもを守る優しい町でないといけないと思います。



理容店を営んでいる
高橋秀光さん（福田）

すばらしい自然はそのまま、若い人が夢を持てる職場、娯楽施設等が充実すればと思います。



親子で歯科検診に来ていた
庄野文子さん（苗羽）

子どもたちがのびのびと安心して暮らせるまちであってほしいと思います。



苗小音楽部でクラリネットを演奏している
綾田美貴子さん（苗羽小6年）

みんなが美しい自然から元気パワーをもらえるような島であってほしいです。青い海と毎日流れ星が見られるような満天の星空がずっと見れたらいいな。



自宅でくつろいでいた
日岡仙次さん（神懸通）

「食は命なり」オリーブ、そうめん、醤油、佃煮、総菜作りに誇りと希望（知恵と改善で）をもとう！うす塩の食生活で健康長寿。いつまでも、思いやりのある町でありたい。



神社の広場で友だちと遊んでいた
高木美結ちゃん（福田小4年）

平和で、きれいで、犯罪なんか全然ない、まちになってたらなあ。



草壁保育園で保育士をしている
藤本祥子さん（西村）

10年後の小豆島への願い…今の内海にある独特の香り・四季の色・昔から受け継がれてきた技が変わらず残っていてほしい。



4月からの中学校生活に胸躍る
大澤拓真くん（安田小6年）

自然がいっぱいあって、みんなが安全に暮らせる町であってほしい。できれば若い人から高齢者まで楽しめる施設があるといいなあ。



内中テニス部でキャプテンを務める
寺岡義人くん（内海中2年）

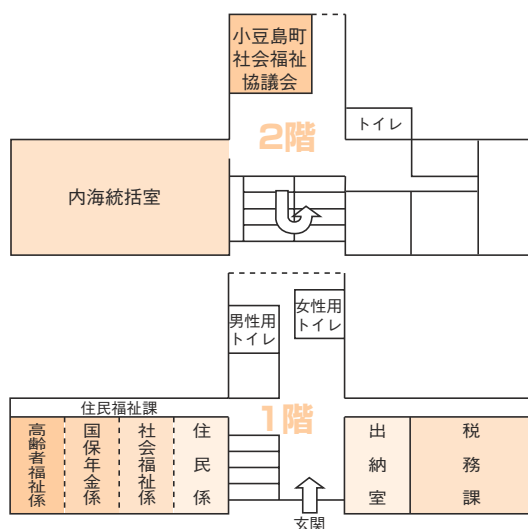
10年後、僕は小豆島に住んでいるかどうかかわからないけど、島に帰れば、心も体もほっといやされる、そんな島であり続けてほしい。

合併に伴うお知らせ

3月21日より、現在の役場内の各課の配置が変わります。

大きな変更として、産業観光課が商工観光課として旧民俗資料館へ、議会事務局が池田庁舎へ、教育委員会が、社会教育課、学校教育課として内海庁舎南館3階へ移動となります。

住民課窓口、税務課窓口については従来と変わりありません。詳しくは3月中旬に合併協議会から発行される「暮らしのガイドブック」でも説明いたします。



<内海庁舎 2 階>

小豆島町社会福祉協議会

☎ 82-5318

内海統括室 ☎ 82-7001

<内海庁舎 1 階>

住民福祉課

住民係 ☎ 82-7004

社会福祉係 ☎ 82-7005

国保年金係 ☎ 82-7006

高齢者福祉係 ☎ 82-7006

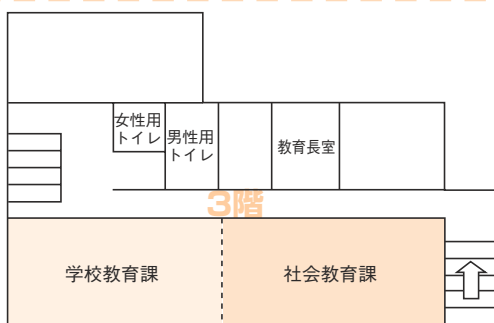
税務課 ☎ 82-7003

出納室 ☎ 82-7012

<内海庁舎南館 3 階> (旧内海分庁舎)

学校教育課 ☎ 82-7015

社会教育課 ☎ 82-7014



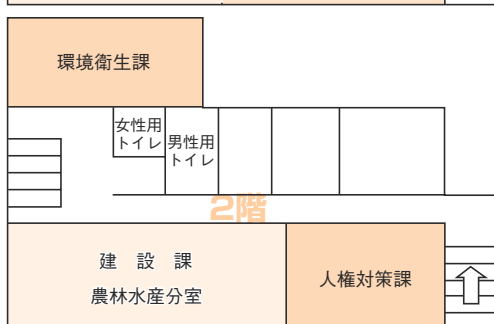
<内海庁舎南館 2 階> (旧内海分庁舎)

環境衛生課 ☎ 82-7008

建設課 ☎ 82-7009

農林水産分室 ☎ 82-7010

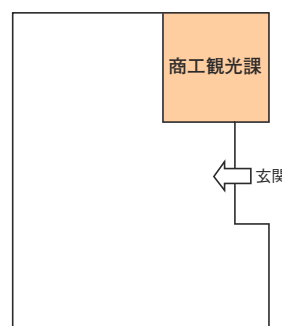
人権対策課 ☎ 82-7011



<旧民俗資料館内>

商工観光課

☎ 82-7007



<介護老人保健施設うちのみ 1 階>

介護老人保健施設 うちのみ ☎ 82-7031

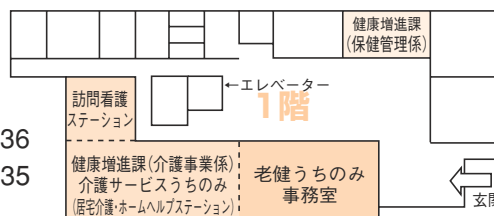
健康増進課 ☎ 82-7034

介護事業係 ☎ 82-7034
(居宅介護支援)

ホームヘルプステーション ☎ 82-7036

訪問看護ステーション ☎ 82-7035

保健管理係 ☎ 82-7038



※水道課 (☎ 82-7016) の位置は現在と変わりません。

広報の配布方法が変わります！

これまで、各自治会や連絡員が配布していた町広報ですが、4月から発行される新町広報から業者による配布に変わります。なお、町内すべての世帯に配布いたしますが、4月10日以降になっても到着しない場合、その他のお問い合わせは下記までご連絡ください。

<お問い合わせ> 3月20日まで 内海町 総務企画課 広報広報係 ☎ 82-7002
3月21日以降 小豆島町 企画財政課 広報秘書係 ☎ 75-1800

住所・本籍表示について

内海町と池田町が3月21日に合併することにより、住所・本籍の表示が次のように変更になります。

名称の変更

合併により、内海町、池田町の名称は、「小豆島町」になります。

字名の変更

字名については現行のまま変更ありません

<住所表示例>

旧) 内海町安田甲144番地90



新) 小豆島町安田甲144番地90

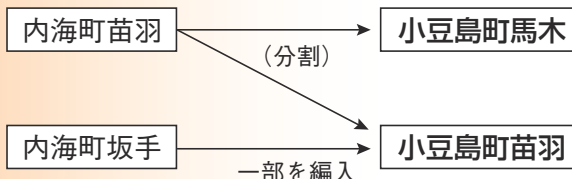
地番等の変更

苗羽に編入される坂手の一部を除き、現行のまま変更ありません。

郵便番号

小豆島町馬木を「761-4426」とし、その他は従来どおりです。

苗羽地区に関しては
苗羽と馬木に分かれます。



小豆島民俗資料館閉館のお知らせ

このたび、内海町西村にある内海町郷土文化保存伝習施設（小豆島民俗資料館）が、オリブワールド推進計画に基づく用途変更により、2月21日をもって閉館となりました。

これに伴い、館内に展示されていた郷土資料は、町立図書館で展示されますのでご覧ください。

また、古い漁具や民具などの資料の一部は、二十四の瞳映画村へ移転し、展示される予定となっています。

なお、新町発足後は観光の拠点施設として新たに利用される予定となっています。長い間、ご利用いただきありがとうございました。



平成18年3月21日に新しく小豆島町が発足することに伴い、現在の「燃やせるごみ指定袋」の販売価格が下記のとおり変わります。で、お知らせします。現在400円で販売されている大袋を、4月1日より300円に値下げします。



「燃やせるごみ指定袋」の販売価格が変わります。

大袋のみ販売価格が変更されます。

	3月31日まで	4月1日より
大袋	400円(10枚入り)	300円(10枚入り) 【100円値下げ】
中袋	200円(10枚入り)	200円(10枚入り) 【変更なし】
小袋	100円(10枚入り)	100円(10枚入り) 【変更なし】

※なお合併後においても、内海町と記載された「燃やせるごみ指定袋」は、これまでと同様に使用することができます。



新しい証書は4月1日から

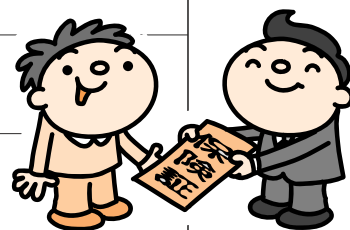
小豆島町発足に伴う各種福祉関係証書の送付について

小豆島町の発足に伴い、これまで使用していた各種福祉関係の証書が無効となり新たな証書が発行されます。ただし、合併後も3月末日まではこれまで使用していた証書が有効であり、新しい証書は4月1日から使用していただくこととなりますのでご注意ください。

4月1日より変更される証書は下記のとおりであり、3月末までに各世帯あてに該当する証書のみを郵送によりお届けします。

【変更される証書の種類】

国民健康保険	①国民健康保険被保険者証 ②国民健康保険高齢受給者証 ③国民健康保険限度額適用・標準負担額減額認定証 ④国民健康保険特定疾病療養受療証
老人保健	①老人保健法医療受給者証 ②老人医療の限度額適用・標準負担額減額認定証 ③老人保健特定疾病療養受療証
介護保険	①介護保険被保険者証 ②介護保険負担限度額認定証
福祉医療	①乳幼児医療費受給資格者証 ②母子家庭等医療費受給資格者証 ③重度心身障害者等医療費受給資格者証



【介護保険施設に入所中の方】

特別養護老人ホーム等の介護保険施設に入所中の方については、各施設を通してお届けします。

【無効となった証書の返還】

4月1日以降に無効となった証書は、役場または各地区公民館へ返還してください。

【3月支払分医療費の入金】

3月21日の合併準備のため、3月支払分の福祉医療費・高額療養費・高額介護サービス費等の支給は通常の月末ではなく、4月に各指定口座へ入金いたしますのでご承知おきください。

【問い合わせ先】 住民福祉課 (☎ 82-7005または7006)

3月・4月の保健カレンダー

母と子のすくすくルーム (対象児：平成18年1月生まれ)

3月15日(木) 13:30 集合 介護老人保健施設うちのみ

BCG接種 (対象児：生後2か月～5か月児)

3月16日(木) 15:00～15:30 受付 介護老人保健施設うちのみ

1歳6か月児健診 (対象児：平成16年9・10月生まれ)

4月13日(木) 13:15～14:00 受付 介護老人保健施設うちのみ

体脂肪測定・ほくほく体操

3月10日・24日(金) 9:00～11:30 介護老人保健施設うちのみ

お知らせ 4月から健康相談が変わりますのでお知らせします

3月末まで	相談日	時間	場所
	毎週金曜日	9:00～11:30	介護老人保健施設うちのみ
↓			
4月から	相談日	時間	場所
	毎月第2・4金曜日	9:00～11:30	介護老人保健施設うちのみ

※血圧測定、尿検査、体脂肪測定、保健師による健康相談を行います。問い合わせ先 健康増進課 ☎ 82-7038

皆さんは大丈夫？

メタボリックシンドローム

メタボリックシンドロームって何？

健康診断などを受けた際に、「血圧がやや高い」「血糖値が高め」「やや太り気味」などと言われたことはありませんか？少し高いくらいなら特に気にしないという人も多いと思いますが、これらの症状が重なり合うと血管が詰まりやすくなる動脈硬化を促進し、さらには心筋梗塞や脳梗塞などの重大な病気を起こしやすくなることがわかっていきます。そこで動脈硬化を進める複数の危険因子を持った状態を『メタボリックシンドローム』と呼び、昨年の春に日本での診断基準が発表されました。特に20代の時と比べると、おなか周りに脂肪がつき、年々ウエストがきつくなっている、

そんな中高年が危ないといわれています。

メタボリックシンドロームを予防・解消するには？

まず生活習慣を見直すことから始まります。ポイントには『食生活』と『運動』

●「まごはやさしい」食生活を、豆、ごま、わかめ、野菜、魚、しいたけ（きのこ類）、いも。略して「まごはやさしい」、これらを毎日きちんと食べる心がけを。今日まだ食べていないものはありませんか？

● ゆっくり食べよう

食事は20分以上かけて、ゆっくり良くかんで食べる。

腹八分目を心がけ、寝る直前の夜食はやめましょう。

● たばこはやめる

● 体を動かそう
目標は1日30分以上の運動と言われています。しかし毎日が無理だからと諦めず、週3回、週1回でも全くしないよりは効果があります。意識的に体を動かし、活動量を増やすことから始めましょう。

● 毎日自分をモニターしよう

体重・体脂肪は？腹囲は？血圧は？生活習慣が改善した成果が目に見えるかと意欲が高まり、もつとやってみようという気持ち

●メタボリックシンドロームの診断基準

自分の健診結果を見ながら次の表でチェックをしてみましょう。

①肥満（おへその高さの腹囲を測る）
☐ 男性 85cm以上
☐ 女性 90cm以上
②高脂血症（中性脂肪とHDLコレステロールの値をみる）
☐ 中性脂肪 150mg/dL以上 または
☐ HDLコレステロール 40mg/dL未満
③高血圧（通常より低めの値を目安にする）
☐ 収縮期血圧 130mmHg以上 または
☐ 拡張期血圧 85mmHg以上
④糖尿病（境界型から注意が必要）
☐ 空腹時血糖値 110mg/dL以上

①に加え、②～④（高脂血症、高血圧、糖尿病）のうち2つ以上にあてはまるとメタボリックシンドロームといえます。

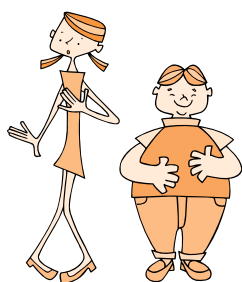
【日常生活でのエネルギー消費量の目安（10分間）】

料理、食事	→ 14 kcal
急ぎ足で歩く	→ 45 kcal
掃除、雑巾がけ	→ 45 kcal
階段を上がる	→ 75 kcal
布団の上げ下ろし	→ 45 kcal
自転車をこぐ	→ 36 kcal
家庭菜園、草むしり	→ 30 kcal
ゆっくり歩く	→ 22 kcal

ちになります。まずは毎日測ること。大切なのは、自分自身のことをよく知ることです。

●定期的に健診を受けよう

メタボリックシンドロームは自覚症状がありません。肥満以外は、見た目にも発症しているかどうか分からないため、きちんと健診を受けて調べる必要があります。また基準値だから大丈夫だと思わずに、過去何年かの健診結果と見比べてみてください。



元気もりもり健康食！

栄養価（1人分）

エネルギー
…125kcal
たんぱく質
…11.9g
カルシウム
…362mg
脂肪
…3.1g
塩分
…0.7g



瀬戸の香り

カルシウムたっぷり、おやつにもおつまみにもなります。
（内海町食生活改善推進協議会）

<材料>4人分

・かえりちりめん 40g
・スキムミルク 30g
・水 60g
・卵 30g
・小麦粉 30g
・大豆（水煮） 20g
・白ごま（すりごま） 大さじ1
・青のり 大さじ1
・人参 20g
・揚げ油 適量

<作り方>

①スキムミルクを水で溶いて、かえりちりめんを浸しておく。
②ボールに卵を割りほぐし、①を混ぜあわせる。
③②に小麦粉・すりごま・青のり・人参のすりおろしを加え、サックリと混ぜ合わせ、天ぷらの衣よりやや固い衣を作る。
④③の中に水切りして細かく切った大豆を加えて軽く混ぜ、中温の油でひとさじ位ずつ揚げる。

<応用ヒント>

同じ材料を使って炊き込みご飯にしてもよい。



恐ろしい火災から命を守る 住宅用火災警報器 の設置について

住宅用火災警報器の 設置が義務付けられます

平成16年に消防法が変わり、小豆地区広域行政事務組合火災予防条例で、火災警報器の設置が義務付けられました。

設置期日

新築住宅
平成18年6月1日
既存住宅
平成23年6月1日

設置する場所

①寝室
普段、就寝する部屋（子供部屋・老人室を含む。）

②階段

就寝する部屋がある階（1階を除く）の階段の上端。

③3階建ての場合

3階に就寝する部屋がある場合は、1階の階段上端。また、1階のみに就寝する部屋がある場合は、3階の階段上端。

④その他

①②③以外で警報器を設置する必要がなかった階で、就寝に使用しない部屋（床面積が7平方メートル以上）が5以上ある階の廊下に設置します。

悪質な訪問販売等に 十分注意して下さい

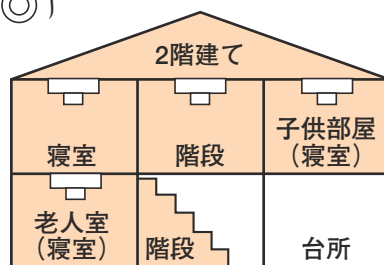
消火器と同様に、悪質な訪問販売や点検をする者が出没する恐れがありますので、十分注意して下さい。

問い合わせ先

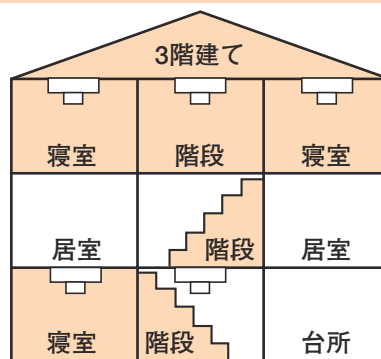
小豆島消防署内海分署

（☎82-0119）

警報器設置場所の例



① ②



③

警報器を設置する必要がなかった階で居室（7㎡以上）が5以上ある場合



④

平成17年度学校支援ボランティア活動状況

学校名	主な活動内容
内海中	部活動の指導、作文・添削の指導、音楽の指導、オリーブ学校園整備
星城小	昔遊びの講師、しめ縄作り講師、門松作り、除草作業
安田小	本の読み聞かせ、図書の整理
苗羽小	昔遊びの紹介、郷土クラブの講師、除草作業、オリーブ畑の手入れ、野菜作りの手伝い、本の読み聞かせ、図書の整理
福田小	本の読み聞かせ、オリーブ畑の手入れ、体験談、図書の整理
西村幼	本の読み聞かせ、クラフト作り
草壁幼	本の読み聞かせ、リズム遊び、音楽の指導、おやつづくり
安田幼	本の読み聞かせ、図書の整理、野菜栽培指導、行事の補助
苗羽幼	本の読み聞かせ
旭幼	本の読み聞かせ、クリーン作戦の補助、クッキングの補助
福田幼	本の読み聞かせ

平成18年度 学校支援ボランティア募集！！

学校支援ボランティア事業は、地域社会・家庭・学校が一体となって子どもたちを育てるため、地域の皆さんに学校のお手伝いをしていただくものです。

教育委員会では平成18年度の学校ボランティアを次のとおり募集します。

なお、左表は平成17年度の主な活動状況です。

- ★活動の内容…体験学習の実技指導・部活動や学校行事の補助・図書関係、学校環境整備などで、このほか学校の教育活動に役立つことであれば何でも結構です。
- ★活動方法…支援をお願いしたい方に各学校から直接連絡します。日時等の打ち合わせを行い、その後依頼校において支援活動をお願いします。なお、申込者全員にもれなく依頼があるとは限りませんので、あらかじめご了承ください。
- ★申込方法…各学校、公民館にある申込書に住所、氏名、電話番号、活動内容、希望の学校名を記入のうえ、最寄りの学校、幼稚園、公民館又は教育委員会まで提出してください。
- ★その他…謝金・交通費などの支給はありません。町負担で、ボランティア保険に加入いたしますので申込書は正確にご記入ください。なお、これまでに申込みされた方も再度手続きをお願いいたします。
- ★申込締切…3月24日（金）
- ★問い合わせ先
教育委員会事務局
（☎82-7014）

第27回読書感想文最優秀賞決定

町立図書館主催の第27回読書感想文募集があり、町内の小・中・高校生と一般から39編が寄せられ、選考の結果、次の方々が受賞されましたので、ご紹介します。(敬称略)

最優秀賞

◆小学校低学年の部



谷岡 嶺地
(星城小1年)
「ないた」を読んで

◆小学校中学年の部



荒田 瑞穂
(安田小3年)
「ぼくらのカマキリくん」を読んで

◆小学校高学年の部



森本 大雅
(安田小6年)
「ぼくらはみんな生きている」を読んで

優秀賞

◆小学校低学年の部



今村 里々佳
(内海中2年)
「たったひとつのたからもの」

森本 夏生 (安田小1年)
「ないた」をよんで

◆小学校中学年の部

植松 弘樹 (安田小4年)
「国際宇宙ステーション」

玉田 雄大 (安田小4年)
「森は呼んでいる」

石井 寿弥 (星城小5年)
「ぼくが犬になったら」

◆小学校高学年の部

高橋 楓 (内海中1年)
「翼のない天使たち」

橋本亜加那 (小豆島高2年)
「長崎を忘れない」

◆一般の部

奨励賞

小林 規子 (福田)
「奇跡のピアニスト」

↑選評にかえて

人の一生で、時に応じて良書と出会い、それが生きるよすがになったり、生きる指針を与えてくれたりしたら、どんなに幸せでしょう。そんなにおおげさでなくてもいい。読書によって、登場人物とともに喜怒哀楽できれば、至福の境地になりましょう。

町立図書館が、読書感想文を募集し始めてから、今年で27回目です。応募作品を読むと、自分の選んだ本に心から感動して、勇気を得、新たな自信を持つなど、読書の喜びがよくわかります。

4月からは新しい小豆島町立図書館としてスタートします。これからも良い本をいっぱい読んで、すばらしい読書体験を積み重ねてください。

町立図書館協議会
委員長 坂下公臣



図書館だより

皆さん、お気軽にご利用ください。 図書館 (☎82-0291)

◆新刊紹介 (一般書) ※他に約42冊あります

書名	著者名
社会人のオキテ	大條 充能
住職がつづる とっておき平等院物語	神居 文彰
ヒトの教育	井口 潔
黄金比はすべてを美しくするか?	マリオ・ソヴィオ
ゆびのからくり	鈴木加津乃
しょうゆの不思議	日本醤油協会
おしゃれな部屋の収納ワザ	主婦と生活社 編
ちりめんのつり飾りとお雛様	弓岡 勝美
高校サッカー 伝説の名勝負&プレーヤー列伝	カンゼン編集部
ちびまる子ちゃんの 音読暗誦教室	斎藤 孝
プーさんの鼻	俵 万智
魔女の笑窪	大沢 在昌
春朗合わせ鏡	高橋 克彦

◆新刊紹介 (児童書) ※他に約20冊あります

書名
観察実験であそぼう! 科学パワーで実験編
日本の伝統食を科学する 発酵食品をつくってみよう
プーさんのたてたいえ

だるまちゃん と てんじちゃん (英語版)

春はあけぼの

ユニコーンと海

◆3月の行事予定

行事内容	日時
おはなし ひとみ会	5日(日)14:00~14:30
わくわく おはなし会	8日(水)10:00~10:30
古文書 (初級)	11日(土)10:00~12:00
古文書を読む会	14日(火)14:00~16:00
手作り紙芝居作成日	15日(水)10:00~12:00
音読タイム	15日(水)16:00~
枕草子を読む会	18日(土)14:00~16:00
読書の会	19日(日)14:00~16:00
おはなし てるき会	25日(土)10:30~11:00
読み聞かせ会	29日(水)・30日(木) 14:00~
やってみよう!	
子ども映画会	

◆ロビー展 (3月7日~4月5日)

※貸出可

かんたん! 手作り! 入園・入学準備の図書展 (約35冊)

就学援助制度

小・中学生がいる家庭で、経済的に困っている方のために「就学援助制度」があります。この制度の適用を受けると、学用品費や通学用品費、学校給食費などの一部が給付されます。

詳しくは、教育委員会事務局
(☎ 82-7014) または、在学している小・中学校へお問い合わせください。

町奨学生募集

高校・専修学校（専門課程）・大学（高専・短大含む）の修学を志す方のうち、経済的理由などにより修学が困難な方に、学資の貸し付けをします。

奨学生の資格

- ①内海町・池田町に居住する方、または高校卒業時まで内海町に居住していた方
- ②経済的理由により修学が困難と認められる方
- ③保健医療関係職修学資金の貸し付けを受けていない方

貸付額

高校在学中、月額1万円

大学等在学中、月額3万円

申込期日：3月31日(金)

申し込み先

内海町教育委員会事務局 (☎ 82-7014)

池田町教育委員会事務局 (☎ 75-0600)



相談

お悩み事はありませんか？ 心配ごと相談所の開設

内海町社会福祉協議会では、毎月1回、心配ごと相談所を開設しています。お気軽にご相談ください。

日 時：3月14日(火)

13:30～15:30

場 所：福祉会館



不動産無料相談会

香川県不動産鑑定士協会所属の不動産鑑定士による土地・建物などの不動産の価格や土地取引に関する無料相談会を開催します。

日 時：4月7日(金) 10:00～16:00

場 所：香川県庁東館1階ロビー

※相談の受付は当日会場の窓口で行います。相談者が多数の場合、お待ちいただくことがありますので、ご了承ください。

問い合わせ先

香川県不動産鑑定士協会事務局

(☎ 087-822-8785)

お知らせ

平成18年度から、 県自動車税の 「月割計算」が変わります

平成18年度分の自動車税から、引越しや売買によって、現在所有している自動車のナンバーが他の都道府県のナンバーに変わっても、その年度における自動車税の月割計算による還付や新たな課税はなくなります。

ただし、自動車税の抹消登録の際の還付や新規登録の際の課税については、今までどおり月割計算がされます。

問い合わせ先

小豆総合事務所税務課 (☎ 62-0322)

年度末における軽自動車の 車検・廃車・名義変更等の 手続きについて

例年、年度末での手続きが大変混雑しています。軽自動車をお持ちの方の車検・廃車・名義変更等は年度末を避け、早めに済ませますようお願いします。

また車検（継続検査）は、自動車検査証の「有効期間の満了する日」の1ヶ月前から受けられます。

なお自動車リサイクル法の施行により、リサイクル預託金を支払わなければ、車検を受けることができませんのでご注意ください。

※リサイクルに関する詳しいお問い合わせは、財団法人自動車リサイクルセンターまでお願いします。

(☎03-5673-7396)

軽自動車検査協会 香川主管事務所

(☎087-870-6676)

<http://www.keikenkyo.or.jp>

お済ですか！確定申告

期限を過ぎて申告や納税をされないと、本税のほかに加算税や延滞税が必要となる場合がありますのでご注意ください。まだの方は、お急ぎください。申告書は、郵送などで提出することもできます。

■ 所得税および贈与税の申告と納税は
…3月15日(水)まで

■ 個人事業者の消費税の申告と納税は
…3月31日(金)まで

納税は振替で！

個人事業者の所得税や消費税（地方消費税を含む）の納税には、安全で便利な預金口座からの振替納税をご利用ください。なお、「預貯金口座振替依頼書」用紙は、税務署および金融機関に用意しています。

小豆島町長選挙 小豆島町議会議員選挙 のお知らせ

小豆島町の誕生に伴い、町長および町議会議員の選挙が、次の日程で行われる予定です。

なお、町議会議員選挙は、今回に限り、第1選挙区（現池田町の区域）から6名、第2選挙区（現内海町の区域）から12名の議員をそれぞれ選出します。

○ 3月24日(金) 立候補予定者説明会
10時～ 町長選挙

13時～ 町議会議員選挙(第1選挙区)

15時～ // (第2選挙区)

※場所は、いずれもオリーブ記念館（コンベンションホール）です。

○ 4月18日(火) 告示日(立候補届出日)

○ 4月23日(日) 投票日

※告示日及び投票日は、町長選挙、町議会議員選挙とも同じです。



リサイクル情報

(2月受付分)

【譲ります】	チャイルドシート	無償
ヤマハエレクトーン	小高男子制服	ズボン W79 無償
2ステップ型おまる	内中男子制服	150cm 無償
学習机(椅子つき)	ベビーカー	無償
【求めます】	ベビーベット	無償
幼児用お昼ね布団一式	電動ミシン	無償
乳幼児用	車イス	無償
100cm以上男児服		
2月号に掲載したママコート・A型ベビーカー・幼児用ビデオテープは、リサイクルできました。ご協力ありがとうございました。		
リサイクル用品の情報をお待ちしています。環境衛生課内 (☎82-7008)		



情報あれこれ

うちの

インフォメーション

3月 MARCH



募 集

第29回オリブマラソン 全国大会参加者募集

今年も、5月28日(日)に第29回小豆島オリブマラソン全国大会を開催します。参加を希望される方は、下記要領によりお申し込みください。

日程および会場

5月28日(日) 坂手港町営広場

参 加 料: 4,000円

申込方法

所定の払込取扱票(コピー不可・1人1枚必要)に必要な事項を記入し、参加料を最寄りの郵便局から送金、または大会事務局へ持参してください。

問い合わせ先

小豆島オリブマラソン全国大会事務局 (☎ 82-2900)

町営住宅入居者募集

町営住宅に空室ができましたので、次のとおり入居者を募集します。

募集団地: 苗羽団地1-2号室

募集戸数: 1戸

申込期間: 3月6日(月)~3月17日(金)

家 賃: 入居世帯の月収(所得)により決定します。

入居資格

- ①町内に住所または勤務先がある方で住宅に困窮していること
 - ②同居親族または同居しようとする親族があること。(50歳以上の方や1級から4級の障害のある方などは、単身でも入居できます)
 - ③申込者と同居親族全員の所得を合算し、諸控除額を差し引いた月収額が所定の基準に該当していること
 - ④地方税及び町が定めている使用料、手数料等を滞納していないこと
- ※入居者の決定は、公開抽選により行います。

問い合わせ先

建設農林水産課管理係 (☎ 82-7009)

海上保安学校学生募集

受験資格

いずれも昭和57年4月2日以降生まれで、

- ①高校卒業者または平成18年9月までに高校卒業見込みの方
- ②中等教育学校卒業者または平成18年9月までに卒業見込みの方
- ③高専第3学年の課程を修了した方
- ④高等学校卒業程度認定試験(廃止前の大学入学資格検定を含む。)に合格した方など人事院が①②と同等の資格があると認める方

申込用紙配布開始日: 3月13日(月)

受付期間: 4月3日(月)~10日(月)

一次試験: 5月21日(日)

問い合わせ先

高松海上保安部管理課

(☎ 087-821-7013)

坂手海上保安署

(☎ 82-5999)

小豆島准看護学院 学 生 募 集

募集人員: 定員15名

修業年限: 2年

受験資格

- ①高等学校以上卒業者
- ②中学校卒業者

試 験 日: 3月22日(水) 13:00より

試験場所

小豆島准看護学院

(内海病院北隣3階建物)

試験科目: 国語・数学・面接

受 験 料: 10,000円

願書受付期間: 3月14日(火)~20日(月)

入学後の奨学金(月額)

高卒者 72,000円

中卒者 63,000円

問い合わせ先

小豆島准看護学院

(☎ 82-0498)



嘱託の介護支援専門員、 看護師の募集

募集人員

介護支援専門員(ケアマネジャー) 2名
看護師(准看護師) 1名

応募資格: 介護支援専門員資格取得者
: 准看護師、看護婦免許取得者

いずれも普通自動車運転免許取得者

募集期限: 3月15日(水)

採用予定日: 4月1日

申し込み: 履歴書、資格または免許の写しを添えて、健康増進課へお申し込みください。

問い合わせ先

健康増進課 (☎ 82-7034)

語ろう!世界の友と! 香川県青年海外派遣団員募集

香川県では「香川県青年の翼」の団員を募集しています。

事業内容: 「香川県青年の翼」マレーシア・シンガポールコース

派遣期間: 7月30日~8月8日(10日間)

募集人員: 16名程度

応募資格: 平成18年4月1日現在、18歳以上30歳以下の日本国籍を持つ香川県在住の方(学生可)

費 用: 派遣経費の約半額を参加者が負担

選考方法: 書類選考・面接

内閣府国際青年交流事業参加者募集

内閣府では、日本と諸外国の青年との交流を通して、次代を担うにふさわしい青年を育成するため、青年国際交流事業を実施しています。

実施事業

*国際青年育成交流(8~9月)

*日本・中国青年親善交流(//)

*日本・韓国青年親善交流(9月)

*世界青年の船(平成19年1~3月)

*東南アジア青年の船(10~12月)

応募資格: 18歳~30歳 両事業共通

募集期間: 4月5日(水)まで※当日消印有効

申込・問い合わせ先

〒760-8570 高松市番町4-1-10

香川県青少年・男女共同参画課内

(財)明治百年記念香川県青少年基金事務局

(☎ 087-832-3195)

手話通訳者養成講座受講生募集

社団法人香川県ろうあ協会では、2006年度の手話通訳者養成講座受講生を募集しています。

受講資格: 20歳以上の者で手話学習経験がおおむね2年以上で、受講者選考試験で選考された者。

受講選考試験日: 4月15日(土)

問い合わせ先

(社)香川県ろうあ協会「手話通訳者養成講座」係

(☎ 087-868-9200)



〈小豆島町〉誕生おめでどう

佐々木 毅 (安田出身・50歳)

現住所 東京都練馬区光が丘7-6-19 505

永らく親しんだ内海町の
名がなくなるのは一抹の寂
しさを憶えますが、この時
に居合わせた事を感慨深く
思います。

私が小学生の頃もう少し
で小豆郡から小豆島市にな
れるほどの人口でした。そ
れが今や町の統合・学校の
統合をするような事になろ
うとは子供の頃、考えもし
なかつたことです。

私のこれまでの経緯を少
し書かせていただきますと、
小豆島高校1年の後半半
頃から得意だった美術の方
面に進みたいと思う気持ち
をだんだん強く持つようにな
り、春・夏休みを美大の
予備校や講習会に通い、デ
ッサン・平面構成の講習を
受けました。

そこで出会った仲間から
も大きな刺激を受け、念願

の美大へ入り室内建築学科
を専攻しました。

今思うとその頃講師とし
て来てくださった方々は
までは建築・インテリア業
界の中で名をなし、功をな
した方々ばかりです。

卒業後、インテリア業界
に身を置き36歳のとき独立
し、設計事務所を起しまし
た。

今、世間を騒がせており
ます構造設計事務所ではな
く意匠設計を主としたアト
リエ事務所です。

主な業務内容はオフィスの
設計(主に外資系企業)
が8割を占めております。

ほとんどの仕事は東京都
内ですが、たまに地方都市
の仕事の時、それも関西・
四国の時は内心これはチャ
ンスと淡い期待を抱きま
す。



ちよつと、田舎に寄れる
かなと:
昨年大阪、神戸と2回
チャンスがありながら現実
は厳しくなかなか島に帰る
猶予を与えてくれませんで
した。
結局この5年1度も帰れ
ずにおります。
もつとも5年前に両親も
東京に居を構え、その分、
帰省が少なくなるのも致し
かたないのかもしれない
ん。
歳を重ね直近の物忘れは
多くなりますが、小豆島で
過ごした青春の日々はかけ
がえのない宝物とし、心に
育んでおります。

おめでた いふやち

1月21日から2月20日まで

◎出生 (2人)

赤ちゃん性別保護者地区

正月由菜女昭一西村

吉田愛理女正人安田

◎死亡 (15人)

氏名 歳 世帯主 地区

黒島 司 71 久江 西村

坂東文子 78 本人 草壁本町

石原則昭 65 ミサヲ

春駒ハッエ 83 忠男

鹿島里志 58 本人

岩本三四 80 義則 片城

向山茂美 75 本人 安田

濱野陽子 73 九富三嗣

仲シズエ 90 本人

佐倉静雄 77 悦子 当浜

下川敏子 70 本人 苗羽

藤井トミコ 78 本人

交通事故・火災・救急件数 (町内1月分)

区分	件数	1月からの累計	昨年同期
交通事故	5	5	7
負傷者	5	5	9
死亡者	0	0	0
火災	0	0	2
救急	33	33	37

当銀正敏 81 本人 苗羽
谷口スエノ 90 本人
丸川計廣 79 通博 福田
※掲載辞退の方は、届出時にお知らせください。

善意の寄付

(敬称略)

○内海病院整備基金へ

寺下 敏雄(坂手)

坂下 龍雄(吹田市)

○安田小学校へ

昭和33年度安田小学校卒業生

昭和52年度安田小学校卒業生一同

○苗羽幼稚園へ

昭和52年度苗羽小学校卒業生一同

特設人権相談所の開設

人権対策課では、特設人権相談所を開設しています。身のまわりの人権に関する問題などで困りの方は、お気軽にご相談ください。

日時 3月15日(水)
10:00~15:00
場所 内海町福祉会館

訂正とお詫び

うちのみ議会だより2月号、内海町議会議員名簿の中の「菅安幸」は「菅安幸」の誤りです。訂正してお詫びいたします。



—最終号にあたって—

内海町が誕生した翌年、昭和27年9月1日に広報うちのみ（当時は、「内海弘報」）は産声を上げました。

当時の町長、佐伯与之吉氏は創刊のあいさつで、「民主的な町政運営が町の発展のために不可欠だ」と述べ、広報紙に関しては「町政その他の事項を努めて詳しく平易にお知らせし、賢明な皆さんの判断による建設的な世論に基づいて、より明るい、理想郷の建設」に貢献できるように、その役割と期待をこめたコメントを寄せています。

第1号の発行から50年あまり。その間に町は住民と行政が一体となったまちづくりを推進。結果、特色あるまちとして、全国にその名をとどろかせるまでになりました。

これまで発行した604冊の広報紙には、そうした町の発展していく様子や、その成長を支えてきた町民皆さんの思い出がぎっしりとつまっています。

残念ながらこの合併を機に「広報うちのみ」は幕を閉じますが、今後は新しいまちの広報紙がその役割を受け継ぎ、皆さんの活躍を見届けて行くこととなります。

本当に長い間のご愛読、ありがとうございました。

企画・編集/内海町総務企画課
〒761-4492 香川県小豆郡内海町安田甲144-90
☎0879-82-7002・FAX 0879-82-1120

U R L <http://www.town.uchinomi.kagawa.jp/>
E-mail somu@town.uchinomi.lg.jp